

富山経協



コチョウラン (解説・18ページ)

CONTENTS

- 2 新年のご挨拶
富山県経営者協会会長、日本経団連会長、富山県知事
- 5 富山経協 新春アンケート
2013年の景気予想
- 10 新春互礼会(報告)
- 10 業務日誌
- 11 Keikyo行事レポート
- 13 参加者NOTES
- 15 調査報告 2012年冬季賞与支給結果(最終集計)
- 15 会員の動き
- 16 改正 高年齢者雇用安定法
- 17 景況指標
- 18 おしらせ・行事予定



新年のご挨拶

一般社団法人 富山県経営者協会

会 長 稲垣 晴彦

会員の各位には、ご家族や従業員の皆様とともに恙無く新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

さて昨年は、一部では一昨年の大震災からの復興需要などの牽引材料もありましたが、従来からの六重苦に加えてヨーロッパ経済の減速や領土問題に端を発する近隣諸国との関係悪化など企業経営を取り巻く環境は一層厳しいものとなりました。しかしながら昨年末に誕生した安倍政権が、積極的な経済政策を表明した途端に株式市場は大きく反応して高騰、また為替レートについても一気に円安方向へという大きな変動がありました。実際に政策が実行されていない段階で、また実体経済の状況とはかなりかけ離れたこのような変化に若干の戸惑いも感じておりますが、少なくとも先行きに対する期待という明るい気分で新年を迎えられたことはここ数年来無かったことであります。

景気の気には気分という要素も含まれていると思います。そういう意味ではこの社会的な気分の変化を天佑として個々の企業が今までのどちらかというコスト削減主体の守勢から成長分野への積極的な投資という方向転換をしていくことで全体としての好循環を創出できる可能性が出てきたと思います。したがって私たち企業にとっての問題は「どのようになるか？」ではなく「どのようにするか？」であろうと思います。

この一年、会員企業各位がこの「天のとき」を活かして積極的に社業を発展されることを期待しておりますが、同時に私は「天のときは地の利にしかず、地の利は人の和にしかず」ということも聞き及んでおります。企業にとっての「天のとき」がマクロの環境であるとするれば、「地の利」は個々の企業が持つ技術やブランドなどの市場優位性を形成する要素でありましょう。また「人の和」は単に仲の良い集団ということではないと思います。真の「人の和」は働く人たちの仕事に対するコミットメントや能力、それを醸成する職場環境のありよう、価値創造に向けての企業組織の構造等いわゆる企業の内部環境全体を包含するものと考えます。

富山県経営者協会としては、その本来の使命である会員企業各社の内部環境の充実に
お役に立てるよう一層の努力をしておりますので、会員の皆様のこれまで以上のご指導
ご鞭撻ご協力をお願い申し上げます。



決断と実行の年に — 新年メッセージ —

一般社団法人 日本経済団体連合会

会長 米倉 弘昌

わが国は内政・外交の両面において課題山積の状況にあります。しかしながら、企業ならびに国民一人ひとりが有する能力や技術を十分に発揮することができれば、日本は必ずやこの難局を乗り越え、再び力強い経済成長を実現できます。

昨年末、国民の大きな期待を背負って安倍政権が誕生しました。新政権には、震災からの本格復興に全力で取り組むとともに、民間が持てる力を最大限に発揮できる環境を早期に整備していくよう強く求めてまいります。とりわけ、大胆な規制・制度改革や法人実効税率の引き下げ等による事業環境の国際的なイーコール・フッティングの確保、エネルギー・環境政策の抜本的な再構築、成長と両立する持続可能な財政・社会保障改革の推進、TPPへの参加をはじめとする諸外国との高いレベルの経済連携の実現は、もはや待ったなしです。

同時に、企業も政治に期待するばかりではなく、世界に誇る技術力と人材力を梃子にイノベーションを加速させ、自ら新たな成長の機会を創り出していかなければなりません。経団連としても、引き続き「未来都市モデルプロジェクト」をはじめとする様々な取り組みを推進し、民主導の持続的な経済成長の実現に向けて邁進する所存です。

今年こそ、決断と実行により、経済再生の道筋をつけ、豊かで活力あふれる新たな日本、世界から期待され、信頼される新たな日本の創生に向けた第一歩を踏み出したいと考えております。





年頭の辞

富山県知事

石井 隆一

明けましておめでとうございます。西暦2013年の初春を県民の皆様とともに寿ぎたいと存じます。

昨年10月の知事選挙におきまして、多くの県民の皆様のご支援とご支持をいただき、引き続き県政を担うことになりました。お寄せいただいた県民の皆様の信頼と期待にお応えするため、ふるさと富山県の発展と県民の皆様の幸せのために全力を尽くしてまいります。

知事に就任して以来、私の変わらぬ目標は、県民の皆さん一人ひとりが輝いて生きられる「元気な富山県」を創ることです。このためにも、「活力」「未来」「安心」の3つを柱とする60の基本政策と、これらを支える重要政策「人づくり」の着実な推進に努め、富山県の新たな未来を切り拓いてまいります。

第1に、「活力とやま」の実現、すなわち、若者をはじめ県民誰もが、「誇りを持って働き暮らせる県づくり」をめざします。第2に、「未来とやま」の実現、すなわち、ご夫婦が安心して子どもを産み育てられる、「未来に希望の持てる県づくり」をめざします。第3に、「安心とやま」の実現、すなわち、高齢化が進行するなか、「健康で安全・安心な地域社会づくり」をめざします。

さらに、こうした元気な県づくりの基盤である「人づくり」、すなわち、いじめ・不登校対策はもとより、子どもの可能性を伸ばす教育、若者・女性・働き盛りの様々なチャレンジへの支援、元気な高齢者が活躍するエイジレス社会の実現などに力を尽くします。

また、我が国は今、東日本大震災からの復興をはじめ、少子・高齢化、人口減少、長引く円高・デフレ、エネルギー政策、領土問題などへの対応とあわせて、近年、世界の中で地盤沈下を続けてきた、この日本という国をしっかりと立て直し、その再生を図る「新しい国づくり」が求められており、富山県としても、その一翼、一端を担っていかなければならないと考えています。

今後とも、県民の皆さんの知恵と力を結集して、人が輝く「元気とやま」の創造をめざして、誠心誠意、努力してまいります。

新年にあたり、富山県経営者協会の限りないご発展と稲垣会長はじめ会員の皆様方のご健勝、ご多幸を心からお祈り申しあげまして、年頭のごあいさつといたします。

富山経協

2013年 新春アンケート

当協会は、理事、監事及び幹事を対象に「新春アンケート」を行い、2013年の景気予想等について尋ねた。70人から回答があった。

アンケート結果の概要は以下の通り。個々の回答は6～9頁に掲載した。

2013年の景気予想

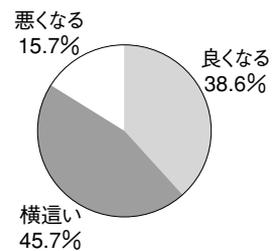
新政権の経済対策、消費税増税前の駆け込み需要に期待

1. 2013年の日本の景気予想

「横這い」が32人（45.7%）で最も多く、次が「良くなる」で27人（38.6%）、「悪くなる」は11人（15.7%）であった。

景気見通しについてのコメントでは、原発再稼働の遅れに伴う電気料金の値上げや日中関係等の懸念材料がある一方、新政権による経済対策や消費税増税前の駆け込み需要、海外経済の持ち直し等に期待する声が多かった。

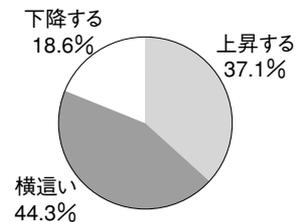
	人数(人)	割合(%)
良くなる ↗	27	38.6
横這い →	32	45.7
悪くなる ↘	11	15.7



2. 2013年の原油価格(WTI)予想

「横這い」の回答が31人（44.3%）と最も多く、「上昇する」が26人（37.1%）、「下降する」が13人（18.6%）と続いている。

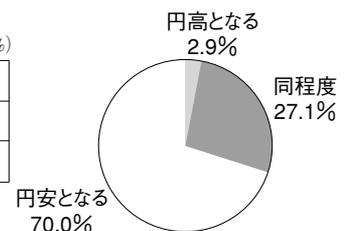
	人数(人)	割合(%)
上昇する ↗	26	37.1
横這い →	31	44.3
下降する ↘	13	18.6



3. 2013年の対ドル円相場予想

新政権の金融緩和策に期待して49人（70.0%）が「円安となる」と答え、「同程度」が19人（27.1%）であった。「円高となる」は2人（2.9%）と少なかった。

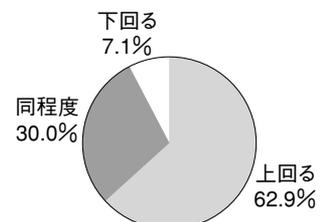
	人数(人)	割合(%)
円高となる ↗	2	2.9
同程度 →	19	27.1
円安となる ↘	49	70.0



4. 2013年の日経平均株価予想

「上回る」と期待する回答が44人（62.9%）と最も多く、次いで「同程度」が21人（30.0%）と続き、「下回る」は5人（7.1%）であった。

	人数(人)	割合(%)
上回る ↗	44	62.9
同程度 →	21	30.0
下回る ↘	5	7.1



No.	企業名	回答者	2013年の日本の景気見通し
1	アイシン軽金属株式会社	代表取締役社長 堀場 正樹	→ 消費税アップ前の駆け込み需要が期待できるものの、それ以上の海外生産シフトによる国内生産減少で、景気低迷が続くと予想。
2	株式会社アイザック	代表取締役社長 石崎 由則	→ 原子力発電の停止による電気料金の値上げや日中摩擦の影響がある一方、後半は消費税の引き上げを控えた消費の増加が景気を押し上げると見込まれる。
3	アルビス株式会社	代表取締役社長 大森 実	↘ 先行き不透明
4	株式会社インテック	代表取締役社長 滝沢 光樹	↗ 外交問題の懸念はあるが、後半には世界経済の好転による輸出の持ち直しや、消費税増税を控えた駆け込み需要もあり、国内景気は緩やかに回復基調を辿る。
5	株式会社大谷工業	取締役 平野 啓次	↘ 国内では原子力を始めたエネルギー不足、国外では中国の衰退、デフレ解消の不透明感などから悪くなると予想。
6	株式会社岡部	代表取締役 稲積 欣治	↗ 現在の日本社会の低迷の最大要因は経済のデフレだと思う。新しい政権はその脱却に取り組むと思うので景気は確実に良くなっていくと思います。
7	オーアイ工業株式会社	代表取締役社長 大愛 高義	↗ 日中関係の悪化等の懸念材料はあるが、自民党安倍政権の誕生で、経済対策「大胆な金融緩和」等により、国内景気の持ち直しが期待される。
8	関西電力株式会社 北陸支社	支社長 吉津 洋一	↘ 原子力発電所の再稼働が見通せない中、電気料金の値上げは避けられず、経済減速の要因となりうる。
9	株式会社北日本新聞社	代表取締役社長 板倉 均	↗ 消費税引き上げ前の駆け込み需要や中国を始めとした海外経済の持ち直しによりプラス成長へ。
10	北日本放送株式会社	代表取締役社長 横山 哲夫	↗ 自民党政権によって財政再建よりも当面の経済対策に重きを置いた施策が実行されることが予想される。
11	キタムラ機械株式会社	代表取締役社長 北村 彰浩	↗ 自民党政権による景気対策により良くなる。
12	株式会社廣貫堂	代表取締役 塩井 保彦	↗ 昨年12月の景況感は、世界経済の減速や、対中輸出減等により大幅に悪化したのが、安倍総理の積極的な経済施策が功を奏することに期待したい。
13	コーセル株式会社	取締役会長 町野 利道	↗ 消費税増税による一時的な増加
14	佐藤工業株式会社 北陸支店	顧問(北陸担当) 江尻 秀夫	↗ 総選挙後の新政権の経済対策などにより景気を押し上げる可能性がある。また増税前の駆け込み需要により個人消費が上向くと予想される。
15	三協立山株式会社	代表取締役社長 藤木 正和	→ 原発再稼働がない場合の電気料金の値上げや対中経済低迷などが懸念されるが、復興需要・消費増税前の駆け込み需要等により全体では横這いからややプラス。
16	JFEマテリアル株式会社	代表取締役社長 鷲尾 勝	→ ヨーロッパの見通し不安は一段落、中国の減速が大きい。
17	株式会社シキノハイテック	代表取締役社長 尾定 祐昭	→ 自律的成長は期待できず、公共投資などで下支えされた中で景気の見通しとしては、外需の回復に期待する展開となると予測。
18	新日本海重工業株式会社	代表取締役社長 杉原七三雄	→ 外需回復を待ちながら景気の底打ちを探る時期が続く。消費税の駆け込み需要や輸出の持ち直しは期待できるが、政治の迷走が本格的な回復の足枷になる。
19	株式会社スギノマシン	代表取締役会長 杉野 芳宏	↘ 自民党は景気対策として日銀に対して市場に金を流そうとしている。実行できればデフレは止まるだろう。そして円高から円安に向かうならば景気も回復基調となる。
20	第一ファインケミカル株式会社	代表取締役社長 岡田 照美	→ 政局の先行き不安。中国新体制の悪影響。好材料少ないが期待を込めて横這い。
21	第一薬品工業株式会社	代表取締役会長 石黒龍太郎	↗ 安倍内閣の誕生により、景気浮揚をねらった金融緩和策、2%のインフレ目標、財政投資、公共事業の拡大などが図られて、景気に活気が出てくる。
22	ダイト株式会社	代表取締役社長 大津賀保信	→ 欧州、中国共先行き不透明。円安傾向にて、輸出企業にとっては有利であるが、欧州、中国経済が不透明により、横這いと考える。
23	株式会社大和 富山店	取締役店長 村田 雅光	↘ 引続き、国内経済の阻害要因に中国経済の減速、欧州の金融不安、原発の再稼働問題が挙げられ、デフレ基調の下、景況改善の兆しが見られない。
24	株式会社タカゲセイコー	代表取締役社長 笠井 千秋	→ 復興需要一巡、欧米の景気停滞、対中貿易縮小の中、消費税増税の前提となる経済成長を実現するため、大規模な景気対策が打ち出され、その効果が期待される。
25	武内プレス工業株式会社	代表取締役社長 武内 繁和	→ 一部には消費税率アップに備えた駆け込み需要も期待できるが、全般的には世界的な景気冷え込みで、日本の景気も力強さに欠け、低迷が続くと予想する。
26	立山科学工業株式会社	代表取締役社長 水口昭一郎	→ 引続き欧州財政不安により景気回復のスピード感が鈍化していると思われます。また、日中政情不安定や米国経済先行き不透明感もあり全体として景況感は悪い。
27	立山黒部貫光株式会社	代表取締役社長 佐伯 博	↗ 新政権下での公共事業などの経済活性化策により、景気は回復に向かう。
28	立山製紙株式会社	代表取締役会長 池田 恒彦	→ 自民党政権となり、当面はデフレ脱却のため諸々の経済政策が試みられると思うが、米国、中国、ヨーロッパの回復遅れもあり、景気は当面横這いか。
29	田中精密工業株式会社	代表取締役社長 執行役員 岩井 逸雄	↗ 東日本大震災の復興需要と円安に向かうと予想されていることから景気が上向くと考えます。(ヨーロッパの情勢が懸念されますが)
30	株式会社チューエツ	代表取締役社長 川上 秀夫	↘ 少子高齢化の進展による人口減、社会福祉制度の綻びによる若年代へ負担増に加えて2次3次産業の海外シフトによる産業の空洞化による労働人口の減少。
31	津根精機株式会社	代表取締役社長 津根 良史	→
32	テイカ製菓株式会社	代表取締役社長 松井 竹史	↗ 政府の景気対策、特に金融緩和策が実際に行われて円安が進み、輸出関連産業の立ち直りを機に全産業が活性化の方向に向かう可能性が高い。
33	藤堂工業株式会社	取締役会長 櫻田 喜春	↗ 米国、欧州、中国の景気動向により影響を受けられるとされるが、円安が来春以降加速すれば日本経済も底上げとなると予想する。
34	東邦工業株式会社	代表取締役 斉藤 大助	↘ 需給ギャップは円安によっても穴埋めは難しく、良くも横這い。世界的に需要が低迷している中、円安により原材料・食料品価格が上昇すれば、回復は遅れる。
35	トナミ運輸株式会社	代表取締役社長 綿貫 勝介	→ 海外経済の減速や中国との関係悪化などから、日本経済の停滞が懸念される。日系企業の生産拠点の海外移転も加速しており、景気の先行きが不透明である。

原油価格	円相場	日経平均株価	世界で紹介したい日本の伝統文化・精神	企業名
↗	↘	↗	津軽三味線、改善魂	アイシン軽金属
↗	↘	↗	茶道、真心を込めて客をもてなす文化	アイザック
↗	→	→	食文化	アルビス
→	↘	↗	おもてなしの心	インテック
↗	→	→	思い通り、相手の気持ちになって考える精神	大谷工業
↘	↘	↗	日本人が持っている作法	岡部
→	↘	↗	今上天皇で125代続く世界に類のない天皇の歴史	オーアイ工業
↗	→	↘	共存共栄	関西電力北陸支社
↗	↘	↗		北日本新聞社
↘	↘	↗	忍耐と自己犠牲の精神	北日本放送
↗	↘	↗	匠の技と言われるキサゲ摺り合わせ作業	キタムラ機械
→	↗	↗	禅の文化	廣貴堂
↘	→	→	多神教すなわちいろんなものを受入れる心、and 武士道	コーセル
→	↘	↗	大震災の際の日本人の礼節を保って互いに助け合うところ	佐藤工業北陸支店
→	↘	↗		三協立山
↗	↘	↗	細かく行き届いたサービスのこもった商品	JFEマテリアル
→	↘	→	和食	シキノハイテック
↘	↘	↗	和歌	新日本海重工業
↘	↘	↗	手入れの行届いた日本庭園に観る侘び寂びの味を世界の人に知ってもらいたい。	スギノマシン
↘	→	→	祭り、気配り	第一ファインケミカル
↗	↘	↗	欧米のような経済優先ではなく、生涯を通じて一つの仕事に打ち込む姿勢が美しい	第一薬品工業
↗	↘	↗		ダイト
→	→	↘	神道、茶道、折り紙、無功德、「和を以て貴しと成す」	大和 富山店
↘	↘	↗	武士道に象徴される清廉潔白な精神	タカギセイコー
→	→	→		武内プレス工業
→	↘	→	日本各地で継承されている様々な祭り	立山科学工業
↗	↘	↗	結いの精神 山岳信仰	立山黒部貫光
↗	↘	↗		立山製紙
↗	↘	↗	「もったいない」という精神でモノを大切にすることを紹介したい。	田中精密工業
→	↘	→	おもてなしの心 お互い様の精神	チューエツ
↗	↘	→		津根精機
→	↘	↗	富山の四季、田舎風景、散居村。	テイカ製薬
↗	↘	↗	日本建築(寺院)	藤堂工業
↗	↘	↗	「能」: 顔の表情を隠し、心を伝える日本の奥深さ	東邦工業
→	→	↘	敬語、ものづくり、保存食、四季	トナミ運輸

富山経協 新春アンケート 《回答一覧》

1

(企業名:五十音順)

アンケートの質問と回答項目

1. 日本の景気予想

(現在と1年後との比較において)

↗ 良くなる

→ 横這い

↘ 悪くなる

景気見通しについて、記述ください。

参考: ①7~9月GDP実質成長率(前期比年率換算) -3.5%

②日銀短観(全規模全産業、9月調査) -6

③民間20研究機関平均値 実質GDP(8月調査)

'12年度予想 :2.2%

'13年度見通し:1.6%

2. 原油価格(WTI) 予想

(現在と1年後との比較において)

↗ 上昇する

→ 横這い

↘ 下降する

参考: '12年11月14日終値:86.32ドル

民間20研究機関平均値(8月調査)

'12年度予想 :94.4ドル

'13年度見通し:98.4ドル

3. 対ドル円相場予想

(現在と1年後との比較において)

↗ 円高となる

→ 同程度

↘ 円安となる

参考: '12年11月15日(東京11:30)

80.19-80.22円

4. 日経平均株価(225種・東証) 予想

(現在と1年後との比較において)

↗ 上回る

→ 同程度

↘ 下回る

参考: '12年11月14日 8,664.73円

5. 世界で紹介したい日本の伝統文化・精神

No.	企業名	回答者	2013年の日本の景気見通し
36	株式会社富山銀行	代表取締役頭取 齊藤 栄吉	→ 米国の不芳やアジアの減速に歯止めが掛かり外需は盛り返すものの、内需が復興需要の剥落から減少
37	富山港湾運送株式会社	取締役社長 金尾 雅行	→ 中国を始めとした東アジア経済の成長鈍化の影響を色濃く反映して日本経済は一層行き詰まるが、新政権の懸命の経済対策の実施により何とか横這いを維持。
38	富山スガキ株式会社	代表取締役社長 須垣 純夫	→ グローバルでは良くなる要因はないが、日本の政治改革に期待したい。
39	株式会社富山第一銀行	取締役会長 金岡 純二	↗ 2013年は、景気後退期から早期に脱するが、その回復力には力強さが不足すると予想する。
40	富山地方鉄道株式会社	代表取締役社長 川岸 宏	→ デフレ脱却や円高是正、外交の安定など、長引く不況要因の早期打開は容易ではなく、不透明感が払拭できない状況が続くものと予想する。
41	富山電気ビルディング株式会社	代表取締役社長 山田 岩男	→ 更に空洞化が進み、デフレから脱却できず、引続き厳しい状況が予想されるが、海外景気の回復による輸出、設備投資の増加など景気の底上げに期待。
42	株式会社富山村田製作所	取締役事業所長 森安 勝幸	→ 欧州や中国の景気も来年の下半期には改善される。
43	日産化学工業株式会社富山工場	常務取締役工場長 大野 隆己	→ 前半は外需の低下により横這いから悪くなり、年終盤にはやや持ち直すのでは。
44	日本カーバイド工業株式会社魚津工場	工場長 富川 哲志	↗ 中国経済の行方、米国の財政運営、欧州債務危機の3つのリスクの懸念はあるが、13年入り後は海外情勢の改善から輸出が持ち直し、生産や内需も回復する。
45	日本カーボン株式会社富山工場	常務取締役工場長 本橋 義時	→ 円高、高い法人税、電力供給不安等、所謂製造業の六重苦が改善されない限り、海外企業と同じ土俵で勝負が出来ず、日本の景気の好転は期待できない。
46	日本海ガス株式会社	代表取締役社長 新田 八朗	↗ 13年前半の景気回復ペースは緩やかなものにとどまるが、年度後半には、消費税率引き上げを前にした駆け込み需要により景気は良くなる。
47	日本海コンクリート工業株式会社	取締役社長 本山 信男	↘ 国内景気の底堅さに「かぎり」が見え始めている中、中国・欧米の景気動向も一層不透明感が増すと思われ、先行き予断を許さない状況になると思われる。
48	ハリタ金属株式会社	代表取締役社長 張田 真	↘
49	日の出屋製菓産業株式会社	代表取締役社長 川合 誠一	↘ 総選挙により年末商戦が盛り上がり、政権安定まで景気は停滞すると思われる。
50	富士化学工業株式会社	代表取締役社長 西田 光徳	↗ 自民政権の経済対策に期待。円高是正による企業業績の回復が鍵。
51	ファインネクス株式会社	代表取締役社長 松田 登	→ 自民政権の政権になったので、良くはなるだろう。但し、その効果が出るのは1年経過してからではないだろうか。
52	伏木海陸運送株式会社	代表取締役副社長 矢富 邦昌	→ 近隣諸国との関係がどうなるか、また、新政権の舵取り次第で景気が左右されると思う。
53	株式会社不二越	代表取締役社長 本間 博夫	↗ 新興国をはじめとした海外景気の好転により、企業業績の改善や輸出の拡大が期待できる。
54	株式会社ホクタテ	取締役社長 酒井 正秋	↗ 世界経済の動向からは厳しいが、日本経済は衆議院選での自公民大勝による経済対策と震災復興需要に消費税増税前の駆け込み需要が加わり回復すると考えたい。
55	株式会社北陸銀行	取締役頭取 高木 繁雄	→ 欧州問題は落ち着きつつあるが、根本的な解決が図られた訳ではなく、加えて中国等の新興国の経済成長にも陰りが見え、それらの影響が懸念される。
56	北陸コカ・コーラボトリング株式会社	代表取締役社長 稲垣 晴彦	↗ 外需の環境の改善や経済対策による官公需が景気を下支えする可能性が見込まれる。ただ、国内民需は依然脆弱で自律的な回復には時間を要する。
57	北陸通信工業株式会社富山支店	取締役支店長 新田 朋弘	↗ 復興需要等消費は緩やかに増加傾向で推移見込み。エネルギー分野等で設備投資の増加も見込まれることから、消費投資など民需が底堅く推移していく。
58	北陸電気工業株式会社	代表取締役社長 津田 信治	→ 金融緩和策による円安、株高により国内の景況感は良化。10月に予定される消費税引き上げ前の駆け込み需要により前半は好調。後半は反動減が予想される。
59	北陸電気工事株式会社	代表取締役社長 松岡 幸雄	↘ デフレ脱却が急務。そのためにも、大規模な財政出動で社会インフラ等を整備し、需要拡大を図る。
60	北陸電機製造株式会社	代表取締役社長 鷹西 賢一	→ 政権交代の結果に大いに期待している。
61	北陸電力株式会社	代表取締役副社長 三鍋 光昭	→ 新政権による経済対策が新年の景気を方向づける。年度内の補正予算、新年度の経済対策など切れ目のない政策が重要。
62	株式会社三田商会	代表取締役社長 黒田 一紀	↗ 来年春先までは今の状況が続き、夏頃より上向きに転じると予想しています。
63	三菱レイヨン株式会社富山事業所	常務執行役員事業所長 片岡 章夫	→ 円安傾向、株価回復により、今後マインドの改善を予想。新政権の取り組み次第ではあるが、公共投資の増加による経済効果に一定の期待。
64	株式会社源	代表取締役 源 八郎	↗ 自民党安倍政権の誕生によって大きく流れが変わり、景気は好転する。政権誕生が年末だったことにより、景気の本格回復は今年後半になる。
65	株式会社宮本工業所	代表取締役会長 宮本 岳司朗	↗
66	株式会社ユニゾーン	代表取締役社長 梅田 ひろ美	→
67	米原商事株式会社	代表取締役専務 米原 久晴	→ 製造業を中心に地域経済を支えるという大きな役割を果たしながら景気を下支えするが、日本全体の景気を押し上げるまでには至らないと感じる。
68	株式会社リッチェル	代表取締役社長 蓮池 浩二	→ ・ギリシャの財政→EUでカバーで円安→日経平均アップ ・貿易収支の見通し→中国への輸出減→赤字→円安
69	YKK株式会社黒部事業所	副社長 事業所長 佐々 裕成	↗ 震災復興活動の一段落と電気料金引き上げによる企業収益や家計への影響があるが、消費税率引き上げ前の駆け込み需要により若干の景気上昇を期待したい。
70	株式会社若林商店	代表取締役社長 若林 啓介	↗ アジア経済の復調、景気刺激策による国内景況の改善により、外需・内需ともに拡大し、日本経済はプラス成長へと復帰する。

原油価格	円相場	日経平均株価	世界に紹介したい日本の伝統文化・精神	企業名
→	↘	→	きめ細かな運用ができる現場力、道徳力溢れる人間力、優れた技術力	富山銀行
→	↘	→		富山港湾運送
→	↘	↗	書道、和食	富山スガキ
↗	↘	↗		富山第一銀行
→	→	→	謙譲の心、敬いの気持ち、助け合いの精神	富山地方鉄道
↗	↘	↗	日本酒、漆器、鋳物、金銀銅製品	富山電気ビルディング
→	↘	→	おもてなしの心 一期一会の心	富山村田製作所
→	↘	↗		日産化学工業富山工場
↘	↘	↗	歌舞伎、文楽、能、落語、茶道、華道、将棋、わび、さび	日本カーバイド工業魚津工場
→	↘	→	「わび・さび」という華美を避けることを美徳とする伝統精神	日本カーボン富山工場
↗	↘	↗	武士道	日本海ガス
↘	↘	↘		日本海コンクリート工業
↗	↗	↘	利他の精神	ハリタ金属
→	→	→	日本のコメ	日の出屋製菓産業
↗	↘	↗	武士道の精神	富士化学工業
↘	↘	↗	日本の家と庭の文化—京都風を指す	ファインネクス
→	→	→		伏木海陸運送
↗	→	↗		不二越
↗	↘	↗	自然を敬いながら四季折々の行事を伝承し食べ物を楽しむ精神	ホクタテ
→	↘	→	和の精神	北陸銀行
↗	→	→	仏教美術、古代木造建築	北陸コカ・コーラボトリング
→	↘	↗	和食(日本料理)、日本酒	北陸通信工業富山支店
↘	↘	↗	武道、和食	北陸電気工業
→	→	↗		北陸電気工事
→	→	→	和の心	北陸電機製造
→	→	→	わび、さび、「もったいない」	北陸電力
→	↘	↗	童謡、童話	三田商会
→	↘	↗		三菱レイヨン富山事業所
→	↘	↗	伝統的な祭りに係る行事、祭礼、山車、獅子舞、やぶさめ、踊り	源
↘	↘	↗		宮本工業所
→	→	↗		ユニゾーン
↗	→	→	利他の心、絆、思いやり	米原商事
↘	↘	↗	福澤諭吉「学問のすすめ」	リッチェル
↗	→	↗	他人に対する気遣いと思いやり	YKK黒部事業所
→	↘	↗	社会規範意識 惻隱の情	若林商店

富山経協 新春アンケート

《回答一覧》

2

(企業名:五十音順)

アンケートの質問と回答項目

1. 日本の景気予想

(現在と1年後との比較において)

↗ 良くなる

→ 横這い

↘ 悪くなる

景気見通しについて、記述ください。

参考：①7~9月GDP実質成長率(前期比年率換算) -3.5%

②日銀短観(全規模全産業、9月調査) -6

③民間20研究機関平均値 実質GDP(8月調査)

'12年度予想 :2.2%

'13年度見通し:1.6%

2. 原油価格(WTI) 予想

(現在と1年後との比較において)

↗ 上昇する

→ 横這い

↘ 下降する

参考：'12年11月14日終値:86.32ドル

民間20研究機関平均値(8月調査)

'12年度予想 :94.4ドル

'13年度見通し:98.4ドル

3. 対ドル円相場予想

(現在と1年後との比較において)

↗ 円高となる

→ 同程度

↘ 円安となる

参考：'12年11月15日(東京11:30)

80.19-80.22円

4. 日経平均株価(225種・東証) 予想

(現在と1年後との比較において)

↗ 上回る

→ 同程度

↘ 下回る

参考：'12年11月14日 8,664.73円

5. 世界に紹介したい日本の伝統文化・精神

新春互礼会 県内4経済団体400人が集まる



稲垣富山経協会長



黒田県中小企業中央会長



石井知事



石澤県商工連会長



犬島県商議所連会長

1月4日(金)、ANAクラウンプラザホテル富山で、富山県経営者協会はじめ富山県商工会議所連合会、富山県中小企業団体中央会、富山県商工会連合会の県内経済4団体による新春互礼会を開催した。当協会会員企業220名を含む400名が参加して県内経済の発展に向けて決意を新たにした。

黒田輝夫県中小企業団体中央会会長が開会の言葉を述べ、当協会稲垣会長が「今年は、久しぶりに今日より明日が良くなるのではないかと期待が出てきた。この期待感を経済にとっても大切であり、成長に向けて様々な投資活動が望まれる。『天のときは地の利にしかず、地の利は人の和にしかず』という言葉がある。人の和は企業の組織の維持、活性に欠かすことができない。各企業が、これまで以上に日本またグローバルな地域に価値を提供できるようになっていかなければならない」と新年の挨拶をした。来賓を代表して、石井隆一県知事から祝辞をいただいた。

石澤義文県商工会連合会会長の乾杯の発声で、なごやかに賀詞交換し懇談した。犬島伸一郎県商工会議所連合会会長による中締めでは「新政権への期待感が円安、株高に表れている。流れが変わり最高のスタートとなった」と述べ、力強く万歳三唱した。



Keikyo 行事レポート

業務日誌 2012年12月6日～2013年1月5日

	事業名	委員会名	開催日	場所	参加者数
会 議	経営企画委員会 定例委員会	経営企画	12月6日(木)	富山経協・研修室	10名
	人事・労務政策委員会 定例委員会	人事・労務政策	12月11日(火)	富山商工会議所ビル	18名
	環境委員会 幹事会	環 境	12月13日(木)	富山経協・研修室	11名
	品質管理委員会 定例委員会	品質管理	12月18日(火)	富山経協・研修室	22名
	教育委員会 研究部会(第7回)	教 育	12月21日(金)	富山経協・研修室	9名
	教育委員会 定例委員会(第4回)	教 育	12月21日(金)	富山経協・研修室	14名
	新春互礼会		1月4日(金)	ANAクラウンプラザホテル	400名
セ ミ ナ ー 講 座	5 S+目で見る管理活動実践コース	教 育	12月6日(木)	富山商工会議所ビル	56名
	管理職マネジメント研修(第4回)	教 育	12月7日(金)	富山県農業総合研修所	25名
	地球温暖化セミナー	環 境	12月13日(木)	富山商工会議所ビル	26名

経営企画委員会

■2012年度第4回委員会

12月6日(木)、守山委員長はじめ委員10名が出席して富山経協・研修室において開催し、2012年度事業実績と2013年度事業計画について審議を行った。

守山委員長より、2012年度の事業実績の評価を行い、それを受けて2013年度の事業計画について事務局案をベースにご審議をいただきたいとの挨拶があった。事務局より、①2012年度事業実績について、経営者を対象とした情報提供として「事業継続計画の策定」小

冊子を編集集中であり3月の幹事会で報告する、特命事項として「グローバル人材育成講座」を県との共催により実施した、研修・見学会は総務交流委員会との共催により10月に実施した、②2013年度事業計画について、経営者を対象とした情報提供は次回委員会までに事務局案を提示し審議の上決定したい、特命事項として「公契約条例」の推進をテーマに連合富山との協議会を行う、研修・見学会として「企業理念見学会」を総務交流委員会との共催で2回実施する、「グローバル人材育成講座」は



引き続き県との共催により実施することなどを説明した。

審議の結果、①2013年度事業計画は事務局案で進める、②「事業継続計画の策定」小冊子は事務局案で編集を進め2月までに最終案をまとめて審議することを決めた。次回委員会は4月11日に開催する。

総務交流委員会

■第3回委員会

12月4日(火)、武内委員長はじめ委員15名が出席して富山経協・研修室で開催した。

武内委員長の挨拶の後、2012年度の事業活動の報告と2013年度の事業計画(案)の審議を行った。

2012年度は、県外企業見学会、会員交流事業(ゴルフコンペ、ボウリング大会)を実施した。調査



活動は計画通り実施、広報しており、調査報告書(2012年度小冊子)を事務局案通り発行することとなった。婚活支援については、前回

委員会以降に収集した資料を説明した。

2013年度は、概ね2012年度と同様の活動を継続していくが、県外企業見学会については経営企画委員会との共催により参加者増を図ること、調査活動については「情報インフラ」を緊急調査として企画していくこと、婚活支援については引き続き他団体・他県経協等の情報収集を行うこととなった。

人事・労務政策委員会

■定例委員会

12月11日(火)、綿貫委員長はじめ18名が出席して、富山商工会議所ビル99号室で開催した。

綿貫委員長の挨拶の後、2012年度事業報告について、人事・労務管理セミナー、労働法実務研修会の実績を報告した。

続いて2013年度事業計画(案)を審議し、以下の計画案が出席者全員から承認された。

2013年度の活動方針のローグンは「現場を見よう 新しい発想

をもらおう!」にしたい。重点取り組み事項として、①労務管理実務基礎講座の開設。②障害者雇用対策をテーマに、先進企業見学会の実施、教育機関見学、精神障害施設見学と意見交換会、県外企業見学研修会、先進企業代表者による講演会などを複数年で開催。③労働法関連法制研究部会は部会員の補充(4名)を行い実施。④人事・労務管理セミナーは、改正高年齢雇用安定法への対応と人事処遇制度をテーマに2012年度に実施。タイムマネジメント(長時間労働



管理)による労務管理を実施。⑤行政・経団連との情報(意見)交換会は5月定例委員会でISO26000について日本経団連政治社会部から講師を招き、講演会を行う。CSRからSRへ、最新の国際規格の情報収集をする。

教育委員会

■定例委員会

12月21日(金)、金岡委員長はじめ委員14名が出席して富山経協・研修室で開催した。



金岡委員長から、さまざまな雇用形態や多様化したものの見方をする従業員がいる。それをある一つの考え方やポリシーだけで進めていくのは、日本が豊かになって大変難しくなっている。イチかゼロの排除の論理ではなく、多様性を求めて総合化していく視点が必要で、教育現場にも活かしていくことが重要だと挨拶があった。

2013年度事業計画(案)について審議し、次の通り決定した。

委員会活動：研究部会活動は「高齢化社会における企業教育のあり方～高年齢者雇用安定法改正施行後の社員教育とモチベーション管理～」をテーマとして、委員同士の情報交換の場とする。その上で、委員企業の問題点や取り組み等を意見交換するなかで浮かび上がってきた課題や対応策について研究し、その成果を情報発信する。

階層別教育講座(全10コース)：管理者層をはじめ階層別研修の異業種交流を活発化させるため、階層別教育全般にわたり、研修項目を絞り込み、参加者が考え、意見交流を活発化するためにグループディスカッションや演習の時間を増やす。

職能別教育講座(全12コース)：

営業、事務間接、生産それぞれの部門を対象に、職務能力の向上と課題解決を図るため、新しい手法や最近の企業事例を加えて実施する。参加各社との情報交換・意見交換を行う。

■「5S+目で見える管理」

実践コース

12月6日(木)、56名が参加して富山商工会議所ビルで開催した。

(一社)中部産業連盟 三木素直 上席主任コンサルタントは、5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)は、ただ単に職場をきれいにしておくだけではなく、付加価値を生まない仕事やムダをなくすための全員

参加の活動であり、品質・納期・コスト・安全・環境・士気のすべてに効果がある。また、「目で見える管理」とは、人間は90%の情報を視覚から得ているので、「目で見えて正常か異常かがすぐ分かり、必要な手がすぐに打てる状態にすること」であるとし、管理の進め方について、演習や現場での実践事例を交えて詳しく解説した。



品質管理委員会

■定例委員会

12月18日(火)、町野委員長はじめ委員22名が出席して富山経協・研修室において開催した。



町野委員長挨拶の後、2012年度の事業活動の報告と2013年度の事業計画について審議を行った。

2012年度は、2011年度に引き続き、委員会活動の活性化をねらいに、定例委員会でのグループディスカッション、委員企業見学会の実施や講座の担当委員制実施等に取り組んだ。講座の担当委員から行事の実施状況、気付いた点、次年度に向けた改善点等について報告があった。

2013年度については、基本的には2012年度を引き継いで進めていくこととするが、講座開催案内、受講者への意識付け、講座プログラムの改善に取り組んでいく。また、参加者増加の仕掛けとして、委員企業以外で過去3年間に参加して頂いた企業担当者に直接メールにて案内を配布することとした。

最後に4班に分かれ、「年度方針の展開とそのフォローについて」の課題を基に、活発なグループディスカッションを行った。

■県外企業見学研修会

11月19日～20日(月～火)、13名が参加して開催した。

初日は、リコーエレメックス(株)岡崎事業所を訪問した。精密加工技術をベースに「情報機器事業」「機器事業」を展開し、製品(部品)加工用機械を自社内で開発。お客様に満足していただくために、1作業ごとに完結していく自工程

完結の考え方を導入して3年でやり切り、工程設計完成度を向上させた。防衛関連製造品、自動車部品製造品の工場見学では、上から下まで、決められたことを徹底してやり切るという従業員の皆さんの意志と行動を見せていただいた。

2日目は、自然に恵まれたKOA(株)KOAパインパーク内イーストウィングを見学した。経営環境の変化に対応するためにトヨタ生産方式を導入し、「必要なもの」を「必要な時」に「必要なだけ」



届けるために、全員参加の改善活動(KPS活動)を行っている。CCP工場では、PDCA板があり、クレーム、品質異常、設備不良などの見える化を進めており、働きやすい環境となっていた。

2日間の行程を通して、品質管理先進企業を実際に見て体感することができた。また、参加者間での情報交換も活発に行われ、有意義な見学研修会であった。

(「参加者NOTES」13頁掲載)

環境委員会

■幹事会

12月13日(木)、三鍋委員長はじめ委員11名が出席して、富山経協・研修室で開催した。

三鍋委員長挨拶の後、2012年度事業活動報告と2013年度事業計画案について審議した。また、次年度「定例委員会」開催に向けた提案を行った。三鍋委員長からは、幹事会の開催回数が多くなっているため、幹事の負担も考慮し、回

数を見直すよう指示があった。その他、「11月末時点の富山経協の現状」、「第2回富山県生物多様性保全推進研究会」及び「2012年度第1回産業廃棄物削減等検討会」



参加者NOTES

品質管理委員会

「県外企業見学研修会」に参加して

となみの工業株式会社
常務取締役 萩野 利夫



県外企業見学研修会へは、他社の企業文化と先端的・模範的な品質管理を主体とした活動を、直接見て、聞いて、感じて、自己啓発を図る場という認識で参加した。

「リコーエレメックス(株)」様は「情報機器」と「精密機器」の分野において、技術力で「お客様のNo.1パートナー」を目指しており、岡崎事業所では、腕時計製造で培った加工ノウハウを駆使した、自動車燃料噴射や防衛関連機器精密加工ライン、全自動腕時計組立ラインおよび画像検査装置を見学し、技術力の高さ、徹底した標準化を目の当たりにした。

品質向上活動では品質の作り込みに力を入れていた。開発・設計

段階では“作らずに創る”をキーワードに、3D設計、科学的設計、シミュレーション等を積極的に活用・展開し、生産準備以降においては、品質機能展開から品質工学(最適加工条件設定)や、蓄積したノウハウ活用とともに工程設計完成度評価方法を確立し、「自工程完結」を深掘りした“1作業、1アウトプット、1チェック”にこだわり、最終目標「検査レス(0ppm)」に向けた活動が参考になった。

「KOA(株)」様は、KPS活動で作り上げたコンパクトな一貫生産ラインで各種電子部品を製造していた。経営環境の変化に対応するため、徹底したリードタイム短縮を切り口に「KPS(Koa Profit System)

活動」を導入・発展させるとともに、「循環・有限・調和・豊かさ」をポイントに「地球あっての人、人あっての経営」に努力されており、その姿勢に刺激を受けた。

品質方針には、“一箇、一個が私の保証です”というキーワードを掲げて、製品品質、仕事の質、社員の質向上を、KPS活動を根幹にして継続・実践されていた。参考になったこととして、“ゼロディフェクト・フローの構築”を目標に、①全部門での流失防止、②イノベーションステップ(管理を変え、工程を変え、品質異常の概念を変える)の取り組みがある。

今回見学させていただいた2社は、技術力や環境・リードタイムへのこだわりを軸にしなが、品質は当たり前」として企業文化の一部になっていると感じた。この研修で得たことを自社の品質管理活動等に活かし、人財育成、企業文化の醸成に努めていきたい。

の会議報告を行った。

審議の後、白江副委員長より、北陸電力(株)からの情報として、「気候変動枠組条約第18回締約国会議(COP18)の結果概要について〈速報〉」と「今冬の電力需給対策」及び「志賀原子力発電所敷地内シーム：追加調査の中間報告」について説明があった。

■県外企業見学研修会

11月13日(火)から2日間の日程で、10名が参加して茨城県に赴いた。

初日は、茨城県経営者協会環境委員会、環境研究会との懇談会・



交流会を行った。参加企業の多くが東日本大震災を経験し、電力不足による節電対策など、環境経営への取り組みがいかに重要かを痛感させられた。

2日目は、最初に(株)日立製作所電力システム社の工場視察を行った。5Sの行き届いた工場と、同社の環境リスク低減への徹底的な取り組みが従業員一人ひとりに浸透している様子が見え、参加者一同、大変感心させられた。

次に茨城県の廃棄物処理施設である「エコフロンティアかさま」を訪問した。ガス化溶融炉、管理型最終処分場など最新の施設を有しており、循環型社会の形成に向けて廃棄物の適正処理に取り組んでいることが強く感じられた。

環境経営に携わる参加者にとって、有意義な2日間であった。

(「参加者NOTES」14頁掲載)

■第2回地球温暖化対策セミナー

12月13日(木)、今年度2回目のセミナーを会員企業の環境部門を中心に25名が参加して、富山経協・研修室において開催した。



講師の(一財)電力中央研究所社会経済研究所主任研究員 朝野賢司氏は、「F I T等再生可能エネルギー普及政策の現状と課題」と題して、F I T先進国であるドイツの実情等を紹介しながら、日本での問題点など事例分析を踏まえ、分かりやすく解説し、受講者からも専門的な質問が出るなど、地球温暖化対策に対する理解を深めた。

参加者NOTES

環境委員会

「県外企業見学研修会」を終えて

株式会社アイザック
環境事業本部 営業1課 課長 小幡 知資



初日は、茨城県経営者協会の環境委員会との情報交換会で、日立グループ様やキャノングループ様、新日鉄住金様など、日本を代表する企業が多数参加され、環境への取り組みを伺いました。皆さんが口を揃えてお話になるのは、東日本大震災後の省エネについて。特に茨城県は震源地に近く、また、地震後の電力不足により省電力への取り組みを全企業が必死になってされた話は、強く印象に残りました。節電とともに、太陽光・風力・バイオマス・余剰エネルギーなどによる発電なども、大きなテーマとなっていました。

多くの企業様に共通して、節電のキーワードは「見える化」であり、省エネのトレンドは「作って・溜めて・見て・ピークカット」といったものでした。また、リサイクル事例として、スーパーマーケットでは、震災以降のペットボトル販売量が増加し、この空容器の回収量が3割～5割も増加している事例が発表され、富山との違いを感じ取ることができました。

2日目の午前は、(株)日立製作所電力システム社様の工場を視察しました。震災後の復興に至る道のりを踏まえ、リスク管理の在り方などのお話を頂きました。伺った

11月は「廃棄物分別キッチリキャンペーン」実施中で、40項目に上る分別をされておりました。(小さく出して細かく分ける)手法により、リサイクル・有価物化を推進しておられました。

午後は、エコフロンティアかさま様へ伺いました。同施設は、ガス化溶融炉と管理型最終処分場を有しており、震災発生後は多くの震災廃棄物を受け入れておられます。ゼロエミッションという風潮にあっても、非常時には必要不可欠の施設であることを感じました。

今回の研修を通して、環境というキーワードは、BCPを始めとする経営環境から、生物多様性などの幅広い分野を指し、各社の取り組みも多岐に渡っていることを感じ、当社においても、何を優先して取り組むべきかを考えさせられました。

2012年冬季賞与支給結果(最終集計)

1. 県内

前年比マイナス3.63%、
3年ぶり前年割れ

富山経協は12月26日、「2012年冬季賞与・一時金支給結果(単純平均・最終集計)」をまとめた。集計可能な135社の支給額平均は438,345円で、今回回答のあった企業の前年同期の支給額平均(454,866円)と比べると、金額で16,521円減少、増減率でマイナス3.63%と、3年ぶりに前年割れとなった。

業種別でも、製造業は前年同期比3.92%減少の427,975円、非製造業は同3.32%減少の449,850円となった。

製造業では10業種中5業種で減少し、うち鉄鋼・非鉄金属が23.87%減少、電気機械・電子部品が21.04%減少、一般機械器具が12.46%減少、繊維が11.61%減少と2桁の減少となった。増加したのはプラスチック製品の8.69%増加など5業種。

非製造業では7業種中6業種で減少し、うち金融・保険が10.03%減少と2桁の減少となった。増加したのは建設業(0.38%増加)の1業種のみ。(表1)

(表1) 県内企業の2012年冬季賞与・一時金支給結果[単純平均]
〔最終集計－2012年12月26日〕 (一社)富山県経営者協会

業種	社数(社)	2012年冬季支給額(円) A	2011年冬季支給額(円) B	前年同期比(%) (A-B)/B
繊維	3	456,223	516,149	△11.61
印刷	3	340,319	320,240	6.27
化学	11	613,391	607,250	1.01
プラスチック製品	5	386,228	355,337	8.69
鉄鋼・非鉄金属	4	361,975	475,500	△23.87
金属製品	10	414,724	388,109	6.86
一般機械器具	13	369,695	422,295	△12.46
電気機械・電子部品	7	351,324	444,952	△21.04
輸送用機械器具	4	559,104	572,629	△2.36
その他製造業	11	383,756	362,111	5.98
建設業	9	299,036	297,910	0.38
電気・ガス	3	804,949	839,731	△4.14
運輸・倉庫	11	342,864	359,904	△4.73
情報サービス・通信	6	652,904	653,759	△0.13
卸・小売	17	483,104	489,825	△1.37
金融・保険	2	474,153	526,989	△10.03
サービス業・その他	16	427,139	457,317	△6.60
総平均	135	438,345 (500,220)	454,866 (510,875)	△3.63 (△2.09)
製造業平均	71	427,975 (460,688)	445,450 (462,305)	△3.92 (△0.35)
非製造業平均	64	449,850 (545,034)	465,312 (564,744)	△3.32 (△3.49)

(注)①調査対象440社のうち、集計可能な回答のあった135社の数値である。
②「B:2011年冬季支給額」は、今回「A:2012年冬季支給額」の回答があった企業の数値である。
③平均欄の上段は一社当たりの単純平均、下段の()内は一人当たりの加重平均である。

2. 全国大手

168社単純平均704,191円、
前年比マイナス2.40%

日本経団連が12月26日に取りまとめた「2012年冬季賞与・一時金 大手企業妥結結果(単純平均・最終集計)」によると、調査対象の全国大手企業(主要21業種、大手247社)のうち、集計可能な168社の妥結額平均は704,191円で、前年同期の最終妥結実績(165社、721,507円)と比べると、金額で17,316円減少し、増減率でマイナス2.40%となった。

業種別でも、製造業は前年同期比2.35%減少の697,511円、非製造業は同3.17%減少の737,589円となった。(表2)

(表2) 全国大手企業の2012年冬季賞与妥結結果[単純平均]
〔最終集計－2012年12月26日〕 (一社)日本経済団体連合会

業種	2012年冬季		2011年冬季		前年同期比(%)
	社数(社)	妥結額(円)	社数(社)	妥結額(円)	
総平均	168	704,191 (778,996)	165	721,507 (802,701)	△2.40 (△2.95)
製造業平均	140	697,511 (769,270)	140	714,318 (798,097)	△2.35 (△3.61)
非製造業平均	28	737,589 (809,831)	25	761,766 (818,238)	△3.17 (△1.03)

(注)①調査対象は、原則として東証一部上場、従業員500人以上、主要21業種大手247社。
②「2011年冬季」の数値は昨年の本調査の最終集計結果である。
③平均欄の上段は一社当たりの単純平均、下段の()内は一人当たりの加重平均である。

会員の動き

(敬称略)

■ 代表者の変更

社会福祉法人 わかば福祉会

理事長 小島 伸也(前:小島葉子)

改正 高年齢者雇用安定法 2013年4月1日施行!

高年齢者が少なくとも年金受給開始年齢までは意欲と能力に応じて働き続けられる環境の整備を目的として、「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」(高年齢者雇用安定法)の一部が改正され、2013年4月1日から施行されます。

1 継続雇用制度の対象者を限定できる仕組みの廃止

65歳未満の定年を定めている事業主が、高年齢者雇用確保措置として継続雇用制度を導入する場合、現行の法律では、継続雇用制度の対象者を限定する基準を労使協定で定めることができる。今回の改正でこの仕組みが廃止され、2013年4月1日からは、希望者全員を継続雇用制度の対象とすることが必要になる。

【経過措置】ただし、2013年3月31日まで
に継続雇用制度の対象者の基準を労使協定
で設けている場合に経過措置がある。

・2016年3月31日までは61歳以上の人に対して
・2019年3月31日までは62歳以上の人に対して
・2022年3月31日までは63歳以上の人に対して
・2025年3月31日までは64歳以上の人に対して

基準を適用することができる。

2 継続雇用制度の対象者を雇用する企業の範囲の拡大

定年を迎えた高年齢者の継続雇用先を、自社だけでなく、グループ内の他の会社(子会社や関連会社など)まで広げることができるようになる。子会社とは、議決権を過半数有しているなど支配力を及ぼしている企業、関連会社とは、議決権を20%以上有しているなど影響力を及ぼしている企業。この場合、継続雇用についての事業主間の契約が必要になる。

3 義務違反の企業に対する公表規定の導入

高年齢者雇用確保措置を実施していない企業に対しては、労働局、ハローワークが指導を実施する。指導後も改善がみられない企業に対しては、勧告を行い、それでも法律違反が是正されない場合は企業名を公表することがある。

4 高年齢者雇用確保措置の実施・運用に関する指針の策定〔高年齢者雇用安定法第9条第3項〕

【指針のポイント】継続雇用制度についての留意事項

- ・継続雇用制度を導入する場合には、希望者全員を対象とする制度とする。
- ・就業規則に定める解雇・退職事由(年齢に係るものを除く。以下同じ。)に該当する場合には、継続雇用しないことができる。
- ・就業規則に定める解雇・退職事由と同一の事由を、継続雇用しないことができる事由として、解雇・退職の規定とは別に、就業規則に定めることもできる。また、当該同一の事由について、継続雇用制度の円滑な実施のため、労使が協定を締結することができる。なお、解雇・退職事由とは異なる運営基準を設けることは改正法の趣旨を没却するおそれがあることに留意する。
- ・ただし、継続雇用しないことについては、客観的に合理的な理由があり、社会通念上相当であることが求められると考えられることに留意する。

【高年齢者雇用確保措置とは】

〔高年齢者雇用安定法第9条〕
定年を65歳未満に定めている事業主は、その雇用する高年齢者の65歳までの安定した雇用を確保するため、次の①～③のいずれかの措置(高年齢者雇用確保措置)を講じなければならない。
① 定年の引上げ ② 継続雇用制度の導入 ③ 定年制の廃止

問い合わせは、富山労働局職業対策課(TEL 076-432-2793)または最寄りのハローワークへ

人材の確保・従業員の再就職をお手伝い!

事業の拡大・欠員補充等による
人員確保を行いたいとき

事業の整理・縮小等に伴い、
人員削減せざるを得ないとき

そんなとき、お気軽にご相談ください。

(定年を控えた高年齢者を雇い入れる事業主に助成金が支給されます)



since 1987

出向・移籍(転籍)の専門機関

財団法人

産業雇用安定センター

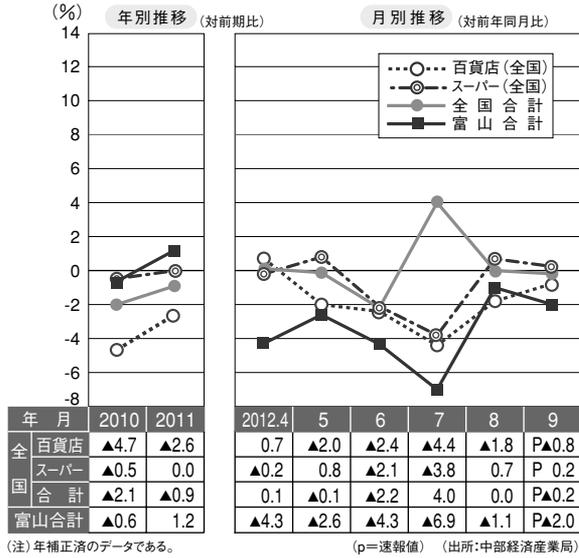
〒930-0857 富山市奥田新町8-1 ボルファートとやま10F TEL 076-442-6900

ご利用時間/9:00~17:00(土・日・祝日は休み) FAX 076-439-2860

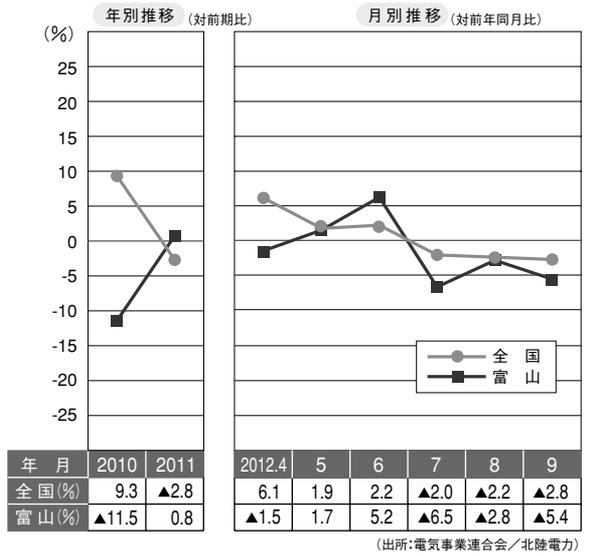
インターネットで最新の人材情報をどうぞ <http://www.sangyokoyo.or.jp/>

景況指標

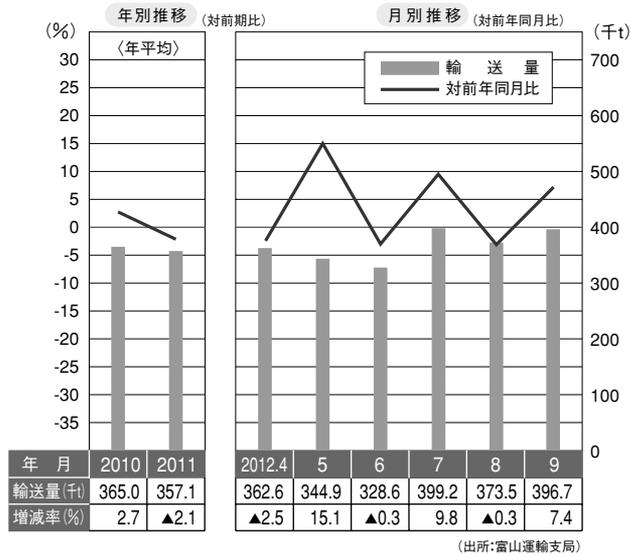
■百貨店・主要スーパーの売上高



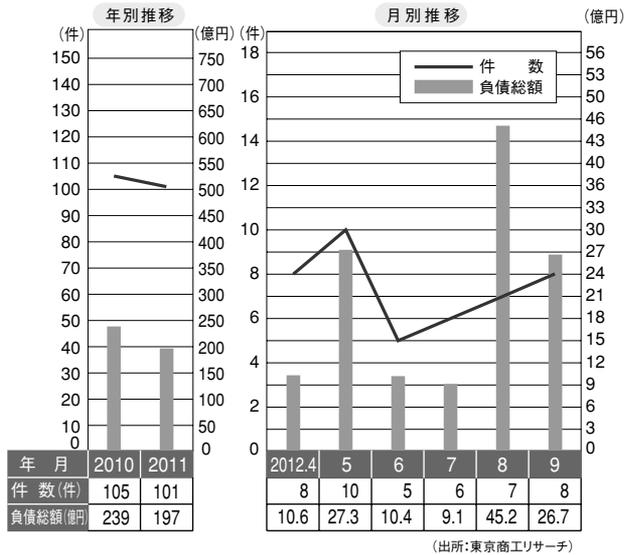
■大口電力消費量 (製造業計)



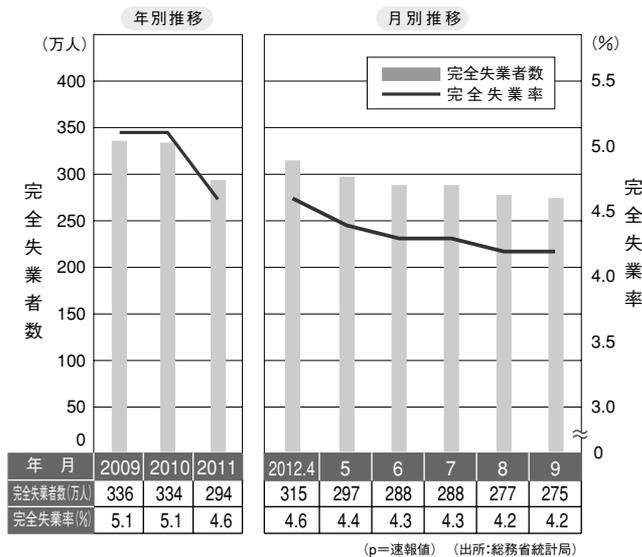
■一般貨物自動車輸送量 (富山県内)



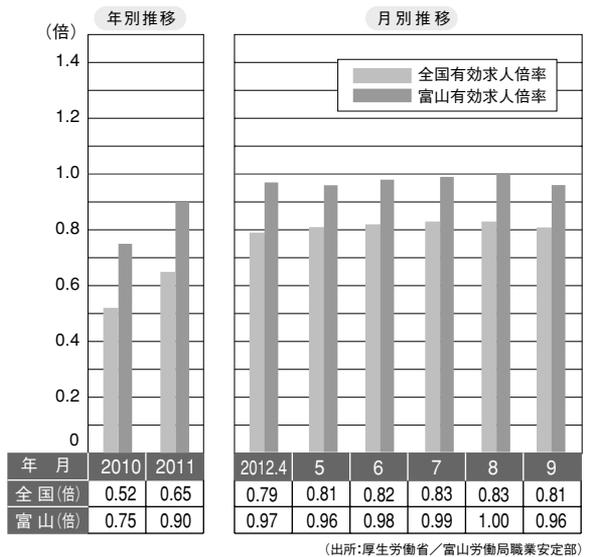
■企業倒産 (富山県内) (件数と負債総額)



■完全失業者数及び完全失業率 (季節調整値)



■有効求人倍率 (パートを含む季節調整値)



幹 事 会

日時：3月4日(月) 16:00～

場所：富山電気ビルディング 4階「光の間」

富山市桜橋通り3-1 TEL (076) 432-4111

(別途ご案内申し上げます)

〈内容〉・2012年度事業報告・研究部会研究報告

行 事 予 定

2013年1月16日～4月5日

詳しくはホームページ (<http://www.toyama-keikyo.jp/>)
「講座・講演案内」をご覧ください。

	開催日	時 間	事 業 名	委員会名	場 所	備 考
会 議	2月21日(木)	16:15～	人事・労務政策委員会 定例委員会	人事・労務政策	富山経協・研修室	
	2月27日(水)	16:30～18:30	労働関連法制研究部会	人事・労務政策	富山経協・研修室	
	3月4日(月)	11:00～13:00	連合富山との懇談会		ANAクラウンプラザホテル	
	3月4日(月)	16:00～	幹事会		富山電気ビル	上記おしらせ参照
	3月4日(月)	17:00～	理事会		富山電気ビル	
セ ミ ナ ー ・ 講 座	1月18日(金)	9:00～17:00	管理職マネジメント研修(第5回)	教 育	富山県農業総合研修所	
	2月6日(水)	13:30～15:30	2013年度労使交渉セミナー	人事・労務政策	富山商工会議所ビル	
	2月19・20日(火・水)	9:30～16:30	係長・主任実践コース	教 育	富山県市町村会館	
	2月21日(木)	13:00～16:00	人事・労務管理セミナー	人事・労務政策	富山商工会議所ビル	
	2月22・23日(金・土)	9:00～13:00	管理職マネジメント研修(第6回)	教 育	富山県農業総合研修所	
	2月26日(火)	9:30～16:00	購買管理実践コース	教 育	富山商工会議所ビル	
	2月27日(水)	13:30～16:00	労働法実務研修会(第4回)	人事・労務政策	富山商工会議所ビル	
	3月7日(木)	13:30～16:30	改善レベルアップセミナー～応用編～	教 育	富山商工会議所ビル	
	3月12日(火)	9:30～16:30	CS(顧客満足)基礎セミナー	教 育	富山商工会議所ビル	
	3月14日(木)	9:00～17:00	管理職マネジメント研修(第7回)	教 育	富山県農業総合研修所	
	4月2日(火)	9:30～16:30	新入社員講習会	教 育	富山県市町村会館	



表紙の花 コチョウラン

国政を左右する衆院選挙が行われ、昨年例年にも増して慌ただしい年の瀬でした。

選挙需要でコチョウランの出荷が急増したという新聞記事を目にしましたが、贈答用として最も人気のあるのがコチョウラン(胡蝶蘭)の花です。花持ちが良く豪華であるということが理由で、花茎が多く一つの花茎に20個もの花が着く高級なものでは1鉢10万円以上という値段がついています。表紙には正月らしいピンクの花を使いましたが、日本で人気のあるのは純白のコチョウランだそうです。

植物園の園芸相談で問い合わせが多いのも、またコチョウランです。お祝いにいただいた花が終わったのでこのあとどう管理すればよいのか、冬越しはどうすればよいのかなど、毎年何件も寄せられます。コチョウランは下に大きな平たい葉が左右に数枚着いていて、花茎は1株に1本しかありません。つまり、化粧鉢の

中には花茎の数だけコチョウランの株があり、1株ずつ小さなポリ鉢に入った寄せ植え状態になっているわけです。花が終わったら1つずつ鉢を取り出し、花茎を切って新しいミズゴケで新しい鉢に植え替えます。時期的には4月が適期です。置き場所は、風通しの良い明るい窓際で、直射日光は当たらないようにします。

6月から10月の生育期は鉢の状態に応じて灌水を行い、時々薄い液肥を与えます。コチョウランは高温を好むランなので、冬は最低15℃が保てる温室が理想です。家庭では、明るく暖かい室内でビニール製の保温フレームに入れ、灌水を控えて乾き気味にして冬越しさせます。

カトレヤもまたランの代表として贈答によく使われます。1個の花は大きく華麗ですが、数が少ないため全体の華やかさではコチョウランにはかなわないようです。

(富山県中央植物園 中田政司)



カトレヤ

「富山経協」vol.804

2013年(平成25年)1月号
2013年1月15日発行(隔月発行)

一般社団法人 富山県経営者協会

〒930-0083 富山市総曲輪2丁目1番3号(富山商工会議所ビル 別館5階)
TEL (076) 421-9588 FAX (076) 421-9952

ホームページ <http://www.toyama-keikyo.jp/>
Eメール info@toyama-keikyo.jp